

「霧島火山群における人工地震の広帯域地震観測」の一部訂正

前田 実利¹⁾・鶴我佳代子¹⁾・及川 純²⁾・松島 健³⁾・馬越 孝道³⁾・奥村 貴史³⁾

¹⁾ 広島大学理学部, ²⁾ 東京大学地震研究所, ³⁾ 九州大学理学部

Correction to the Paper "Broadband Seismic Observations of Artificial Sources in the Kirishima Volcanic Area, Japan"

Mitoshi MAEDA¹⁾, Kayoko TSURUGA¹⁾, Jun OIKAWA²⁾, Takeshi MATSUSHIMA³⁾,
Kodo UMAKOSHI³⁾ and Takashi OKUMURA³⁾

¹⁾ Faculty of Science, Hiroshima University

²⁾ Earthquake Research Institute, University of Tokyo

³⁾ Faculty of Science, Kyushu University

「霧島火山群における人工地震の広帯域地震観測」(東京大学地震研究所彙報第70号, 1995年, 91-102頁)において, 92頁のTable 1及び95頁のTable 2の数値に誤りがありましたので, それぞれ本稿のTable 1およびTable 2のように訂正いたします。また, この訂正に伴い, 以下のように論旨を訂正いたします。

Table 1

	Distance (km)	Azimuth
KVO	0.559	300.8°
ROAD	0.777	191°
ERF	1.285	51.9°

Table 2

	Distance (km)	Apparent P-wave velocity (km/s)
KVO	0.559	2.495
ROAD	0.777	2.796
ERF	1.285	3.189

・91頁 Abstract の7行目

「2.6 to 3.2 km/s」を「2.4 to 3.2 km/s」に変更。

・95頁 1-2行目

「各点における見かけ速度の値を比較すると, ROAD, ERF での 3.2 km/s 前後であるが, KVO では約 2.6 km/s で他の 2 点の値と比べて約 30% も小さい。」を削除。

「霧島火山群における人工地震の広帯域地震観測」の一部訂正

・95頁4行目

「74%」を「74-58%」に変更.

・95頁4行目

「また今回の観測で得られた」を「また各点におけるそれぞれの値を比較すると、3点間の伝搬距離に大差がないにも関わらず、例えば KVO と ERF の値の差が約 0.7 km/s とばらつきがある. この」に訂正.

・101頁の”6. まとめ”の(1)を「3点の観測点のP波の見かけ速度において、3点間の値に大きなばらつきがみられた. この速度の差が生じた理由として、S2点周辺地域から KVO, ROAD 側は地熱によって変質された地帯となり、それが表面を通る地震波の速度に影響しているものと考えられる.」に訂正.